



青森県八戸市に拠点
を置く東北地区大手H
グレードファブリケー
ター、三浦建設工業の
社長に就

任した。

「外部環

三浦建設工業 三浦 統巨氏

創造性や挑戦促す企業風土を醸成

改めて実感する。会長 意識させ、創造性や挑
をはじめ社員の方々が 戦を促す企業風土を醸
築かれた土台を大切 成する仕組みを構築す
に、それに恥じないよる」と抱負。
うに努めたい」と第一 営業戦略を担う弟で
専務取締役の喬史氏と
声。 その上で、中小企業 連携しながら、社長と
診断士の資格も活用し して新たな構想を描 品も手掛けるなど、北

趣味は「資格試験が
一段落したので」と始
めたゴルフ。愛犬の散
歩で日々リフレッシュ
している。

(小室 慎)

東北に拠点を構える中
でマーケット環境にも
応じた価格競争力にも
磨きをかける。

境や需給に左右される 「建築鉄骨の本業を軸

業界にあって、財務健
全性のよい状況で事業
承継でき大変恵まれて

足元の業況について
は「労働力不足やコス

が培った環境経営も継
続、注力する方針だ。

略 歴

三浦 統巨氏
(みうら・の
りたか) 法政
大学大学院法
務研究科卒、
2020年三
浦建設工業入社。24
年6月常務取締役。
1987年4月21日
生まれ、青森県出身。

いる。工場は一方に
加工、溶接工程がライ
ン化された一貫生産体
制で内製化が行え、管
理コスト面の秀逸さを

ト低減のほか、先駆的
な先行きが見えないわ
けではない」と分析。

脱炭素経営を継続的に推進

三浦社長「ものづくりと環境経営で地域貢献」

三浦建設工業（本社 設業界における環境負
・青森県八戸市、社長 荷低減への取り組みが
・三浦統巨氏）は、建 加速する中、カーボン

き続き推進する。
ニュートラルの実現に
向けて脱炭素経営を引
底の脱炭素経営」をテ
ーマに、省エネの推進、

再エネの利活用、C
O₂ 排出量削減計画の
策定と実行に取り組ん
でいる。

これまでに同社は本
社敷地内に太陽光パネ
ル1128枚を配した
自家消費型太陽光発電
システムを整備し、年
間使用電力量の35%を

削減。また省エネルギー
センターの省エネ最
適化診断を受診し、機
器の設定見直しや使用
方法の最適化、高効率
機器への更新や省エネ
機器の導入による対策
も講じてきた。

これらが功を奏し、
鉄鋼事業におけるC
O₂ 排出量が2021
年比で51・2%削減さ
れた。

さらに昨年度は温室
効果ガスの削減に関す
る国際的な環境イニシ
アチブ「SBT」に対
して申請していた削減
目標について、パリ協
定で合意された「気温
上昇1・5度に抑える」
目標に整合する水準で

あると認定された。
三浦社長は「環境問
題を経営課題と捉え積
り環境経営の推進の
極的に環境保全に取り
組んでいく。ものづく
会社を指す」と話し
ている。

